

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【公表番号】特表 2004-513833 (P2004-513833A)

【公表日】平成 16 年 5 月 13 日 (2004.5.13)

【年通号数】公開・登録公報 2004-018

【出願番号】特願 2002-543922 (P2002-543922)

【国際特許分類第 7 版】

B 6 0 N 2/02

A 4 7 C 7/14

A 4 7 C 7/46

B 6 0 N 2/44

【F I】

B 6 0 N 2/02

A 4 7 C 7/14 A

A 4 7 C 7/14 B

A 4 7 C 7/46

B 6 0 N 2/44

【手続補正書】

【提出日】平成 14 年 8 月 19 日 (2002.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両のシートに設けられた可調式ボルスタの入力パラメータを調整する方法であって、

(a) 前記入力パラメータの値について前記可調式ボルスタに加わるフィードバック力を検出し、該フィードバック力が、前記入力パラメータと前記可調式ボルスタに加わるフィードバック力との間に関係を確立する所定の力 $m i n$ に実質的に等しくなるように、前記入力パラメータを第 2 の値に増大させ、

(b) 前記関係に基づいて前記入力パラメータを調整する、
ことを含む前記方法。

【請求項 2】

前記工程 (b) が、車両の車両パラメータを検出し、該車両パラメータを作動閾値と比較し、車両パラメータが作動閾値よりも大であるか、或いは、等しいならば、前記入力パラメータを増大させることを含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記工程 (b) が、前記車両パラメータを作動停止閾値と比較し、前記車両パラメータが前記作動停止閾値よりも大であるか、或いは、等しいならば、前記入力パラメータを前記第 2 の値に減少させることを含む、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記車両のエンジンの始動、前記車両のドアの閉鎖、或いは、シートの着座者の存在の検出の後に、前記工程 (a)、(b) を開始させることを含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記車両のエンジンの作動停止時、或いは、前記車両のドアの開放時に、前記入力パラメータを最小値に減少させることを含む、請求項 1 記載の方法。